

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	委員の 異なる 評価	異なる 評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置						
1 教育に関する目標を達成するための措置						
(1)教育の成果に関する目標を達成するための措置						
ア 学部教育						
資料P1	(ア)-1	a	III			他大学と単位の互換を実施している。
		b	III			
資料P2	(ア)-2	a	III	IV	2	地域・現場の実地体験を評価。地域医療マインド育成プログラムを評価します。
		b	III			
		c	III			
資料P3	(ア)-3	a	III			
		b	III			
	(イ)-1	a	III			
		b	III			
資料P4	(イ)-2	a	III			医師国家試験合格率改善に向けての更なる努力が望まれます。advanced OSCEを導入し、臨床技能の向上を図ることにつとめている。
		b	III			
	(ウ)-1	a	III	IV	1	地域・現場の実地体験を評価。病院外実習を評価します。
		b	III	IV	1	地域・現場の実地体験を評価。病院外実習を評価します。
資料P5	(ウ)-3	a	III	IV	1	共通講義、ボランティア活動を評価します。
		b	III	IV	2	地域・現場の実地体験を評価。地域医療実習を評価します。
	(エ)-1	a	III	IV	1	地域・現場の実地体験を評価。早期体験実習を評価します。
		b	III	IV	1	地域・現場の実地体験を評価。評価はそのままですが、今後の展開に注目したいと思います。地域医療実習を評価します。
資料P6	(エ)-2	a	III	IV	1	国際交流の切れ目ない努力を評価。
		b	III	IV	1	教員・学生の海外派遣を評価。カリフォルニア大学への新規派遣は評価できますが、派遣数減少が気になります。
イ 大学院教育						
資料P6	(ア)-1	a	III			
		b	III			
	(ア)-3	a	III			
		b	III			
資料P7	(イ)-1	a	III	IV	2	研究方法、データ解析技術方法の基礎的取組みを評価。多彩な特別講義実施を評価いたします。
		b	III			
資料P8	(イ)-2	a	III			
		b	III			
	(イ)-3	a	III			
		b	III			
ウ 専攻科教育						
資料P8	(ア)	a	III			
		b	III			
		c	III	IV	1	前年同様、成果を上げた。
	(イ)	a	III			
		b	III			
		c	III			
(2)教育内容等に関する目標を達成するための措置						
ア 学部教育						
(ア)入学者受入れ及び入学者選抜を実現するための具体的方策						
資料P9	a-1	a	III			
		b	III			
	a-2	(a)	III	IV	1	県立医大として県内高校との連携を大いに評価。オープンキャンパスが「良かった」との回答が72%であった。
		(b)	III	IV	1	県立医大として県内高校との連携を大いに評価。

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	委員の 異なる 評価	異なる 評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
<b>(イ)教育理念等に応じた教育課程を編成するための具体的方策</b>							
資料P10		a-1	III				
		a-2	III				
		a-3	—				
		a-4	III				
資料P11		b-1	III	IV	1	地域・現場の実地体験を評価。地域病院実習を評価します。	
		b-2 (a)	III	IV	1	評価はそのままですが、今後の展開に注目したいと思います。地域病院実習を評価します。	
		(b)	III	IV	1	評価はそのままですが、今後の展開に注目したいと思います。地域病院実習を評価します。	
<b>(ウ)教育方法に関する具体的方策</b>							
資料P12		a-1	III	IV	1	共通講義、ボランティア活動を評価します。	
		a-2 (a)	III				
		(b)	III				
		b-1 (a)	III				
		(b)	III	IV	1	自主研究を評価します。	
		b-2	III	IV	1	地域・現場の実地体験を評価。早期体験実習を評価します。	
資料P13		b-3 (a)	III				
		(b)	III				
		b-4	III				
		c-1	III				
		c-2 (a)	III	IV	1	地域・現場の実地体験を評価。地域医療マインド育成プログラムを評価します。	
(b)	III						
(c)	III						
<b>(エ)成績評価等の実施に関する具体的方策</b>							
資料P14		a (a)	III	IV	1	OSCEへの「救急」課題導入を評価いたします。	
		(b)	III				
		b	III				
		c (a)	III	IV	1	何にかにつけても、顕彰制度の継続は結構なことだと考えます。成績優秀者表彰を評価します。	
(b)	III	IV	1	成績優秀者表彰を評価します。			
<b>(オ)卒業教育との連携に関する具体的方策</b>							
資料P15		a (a)	III				
		(b)	III				
		b (a)	III				
		(b)	III				
<b>イ 大学院教育</b>							
<b>(ア)入学者受け入れ及び入学者選抜を実現するための具体的方策</b>							
資料P16		a	III				
		b (a)	III				
		(b)	III				
		c (a)	III	IV	1	10月入学の実施等の努力を評価。	
		(b)	III	IV	2	制度の見直しを評価。募集啓発の努力と入学予定者増加を評価いたします。	
(c)	III						
<b>(イ)教育理念等に応じた教育課程を編成するための具体的方策</b>							
資料P17		a-1 (a)	III	IV	1	学外講師を評価します。	
		(b)	III				
		a-2 (a)	III	IV	1	学外講師を評価します。	
		(b)	III				
		b-1	III	IV	1	医学以外の専門分野の講師を評価します。	
		b-2	III				
資料P18		c	III				
<b>(ウ)教育方法に関する具体的方策</b>							
		a-1 (a)	III	IV	1	研究レベルの向上に関する取組みを評価。	
		(b)	III	IV	1	研究レベルの向上に関する取組みを評価。	
		a-2	III				
		b	III				

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	委員の 異なる 評価	異なる 評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)		
			(I)成績評価等の実施に関する具体的方策					
		資料P19	a	III				
			b	III	IV	2	顕彰制度を評価。顕彰努力を評価いたします。	
			ウ 専攻科教育					
			(ア)	(a)	III			
				(b)	III	IV	1	オープンキャンパスを評価します。
			(イ)-1	(a)	III			
				(b)	III			
				(c)	III			
		資料P20	(イ)-2		III			
			(イ)-3		III			
			(イ)-4	(a)	III			
				(b)	III	IV	1	MFIC、NICU、開業助産所の実学研修を評価。
				(c)	III	IV	1	MFIC、NICU、開業助産所の実学研修を評価。
		資料P21	(イ)-5		III			
			(イ)-6		III			
			(イ)		III			
			(3) 教育の実施体制等に関する目標と達成するための措置					
			ア 適切な教職員の配置等に関する具体的方策					
			(ア)		III			
			(イ)	a	III			
				b	III			
		資料P22	(イ)		III	II	1	今後の研究充実のため、MD-PhDコースなどの早期の設置が望まれます。
			イ 教育に必要な設備、図書館、情報ネットワーク等の活用・整備の具体的方策					
			(ア)	a	III	IV	1	本格的な高度医療人育成センター供用開始を評価いたします。
				b	III			
			(イ)		III			
		資料P23	(イ)		III			
			(イ)		III			
			ウ 教育の質の改善につなげるための具体的方策					
			(ア)		III		FD研修を4回実施するなど、教育方法の改善に努力している。	
			(イ)-1	a	III			
				b	III			
			(イ)-2		III			
			(イ)-3	a	III			
				c	III			
			(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置					
			ア 学習相談、助言、支援の組織的対応に関する具体的方策					
		資料P24	(ア)		III			
			(イ)	a	III			
				b	III			
			(イ)	a	III			
				b	III			
			イ 生活相談、就職支援等に関する具体的方策					
		資料P25	(ア)	a	III			
				b	III	IV	1	相談件数の倍増を評価いたしますが、内容の検証は十分でしょうか？
			(イ)		III			
			(イ)	a	III			
				b	III			
				c	III			
			ウ 留学生支援体制に関する具体的方策					
		資料P26	(ア)		III			
			(イ)		III		国際交流の切れ目ない努力を評価。	
			(イ)	a	III		カリフォルニア大学への新規派遣は評価できますが、派遣数減少が気になります。	
				b	III			

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	委員の 異なる 評価	異なる 評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
<b>2 研究に関する目標を達成するための措置</b>							
<b>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</b>							
<b>ア 目指すべき研究の方向と研究水準に関する具体的方策</b>							
資料P27	(7)-1	a	III				
		b	III	IV	2	がん診療に対する全体的組みを評価。講習会参加者数、研修受講者数が減少するも、他事業が伸びており、成果に期待。	
資料P28	(7)-2		III			英語原著論文の具体的な数の記載が望ましい所です。	
		(4)-1	a	III			
		b	III				
資料P29	(4)-2	a	IV			研究テーマの学内公募・助成・顕彰を高く評価いたします。次世代リーダー賞・若手研究奨励賞創設など、若手研究者の育成に努めている。	
		b	III				
		(4)-3	III				
<b>イ 成果の社会への還元に関する具体的方策</b>							
資料P30	(7)	a	III	IV	2	開かれた大学への努力評価。公開講座、オープンキャンパスを評価します。	
		b	III	IV	2	出前講座を評価。出前授業を評価します。	
		c	III	IV	1	公開講座、講師派遣を評価します。	
(4)		III	IV	2	産官学連携の活動を評価。共同研究を評価します。		
<b>(2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置</b>							
<b>ア 研究体制に関する具体的方策</b>							
資料P31	(7)		III				
		(4)	a	III			
		b	III	IV	1	教授公募の選考過程のオープン化を評価。	
		(4)		III	IV	3	研究助成の取組みを評価。共同研究助成とその成果を評価いたします。応募件数、採択件数が伸び、成果に期待。
(4)		-					
<b>イ 研究に必要な設備等の活用・整備に関する具体的方策</b>							
資料P32	(7)		III				
		(4)		III			
<b>ウ 研究の質の向上につなげるための具体的方策</b>							
資料P32	(7)		IV			研究助成の取組みを評価。研究テーマの学内公募・助成・顕彰を高く評価いたします。	
		(4)		III			
<b>エ 研究資金の獲得及び配分に関する具体的方策</b>							
資料P33	(7)		III	IV	2	産官学連携の具体的な推進を評価。医療機器産業への参入、医工連携をテーマに異業種交流会の開催。	
		(4)		IV		産学連携による研究活動を実施している。	
		(4)		III	IV	1	研究助成の取組みを評価。応募件数、採択件数が伸び、成果発表会を実施するなど前年同様成果を上げた。
		(4)		III	IV	1	研究助成の取組みを評価。若手研究者の動機付けへの努力を評価いたします。
(4)		III			研究助成の取組みを評価。		
<b>3 附属病院に関する目標を達成するための措置</b>							
<b>(1) 教育及び研修機能を充実するための具体的方策</b>							
資料P34	ア-1	(7)	III				
		(4)		III			
	ア-2		III	IV	1	地域医療マインド育成を評価します。	
	イ-1	(7)	III	IV	1	短期留学といえども研修医の留学を評価。	
(4)			III		1	非入局の後期研修医採用を評価。	
資料P35	イ-2		IV			高く評価します。県内病院での研修体制の整備を評価いたします。県内の18病院との研修の連携ができており、研修環境が充実している。	
	イ-3		III				
	イ-4		III	IV	1	AED講習会及び実技講習会を実施、42名参加。(卒後臨床研修センター、紀北分院)	
	ウ-1		III	IV	2	卒後臨床研修センター、紀北分院の活動を評価。公的拠点病院での研修を評価します。	
資料P36	ウ-2		III	IV	2	卒後臨床研修センター、紀北分院の活動を評価。特別養護老人ホームへ内科医師を派遣、研修医の卒後臨床研修として利用	
	エ-1	(7)	a	III	IV	1	地域連携と診療報酬及び実務的取組みを評価。
b			III				
資料P37	(4)		III				
		(4)		III			
資料P37	エ-2		III	IV	2	実習生の受け入れを評価。各種医療技術者の養成のため、実習生5,334人を受け入れ。	
		(4)		III			

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	委員の 異なる 評価	異なる 評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
<b>(2)研究を推進するための具体的方策</b>						
資料P39	ア-1	(ア)	III			
		(イ)	III	IV	2	がん診療に対する全県的組みを評価。がん診療連携協議会を通じ、本県がん診療の充実を図れた。5大がんの地域連携バスを作成し、運用開始。
	ア-2		III			
	ア-3	(ア)	III			
		(イ)	III			
	イ-1	(ア)	III			
		(イ)	III			
	イ-2		III			
ウ		III	IV	3	病棟への薬剤師の配置は1歩前進です。病棟担当薬剤師を評価します。病棟担当の薬剤師を配置、薬剤関連のインシデントの増加に対応。	
<b>(3)地域医療への貢献と医療の実践を達成するための具体的方策</b>						
資料P40	ア-1	(ア)	III			非入局の後期研修医採用を評価。
		(イ)	III			
	ア-2	(ウ)	III			
		(エ)	III			
		(イ)	III			
資料P41	イ-1		III			
	イ-2		III			
	イ-3		-			
	イ-4	(ア)	III			
		(イ)	III			
	イ-5	(ア)	IV	III	2	担当職員の努力は多としますが、栄養食事指導件数が、附属病院1351件、紀北分院の358件で、多いとはいえない。
		(イ)	IV	III	1	栄養食事指導選択メニューの充実は多くの病院で既に実施されています。
		(ウ)	IV	III	2	手術前後の食事指導、運動指導へと努力を向けるべきです。附属病院の栄養管理計画書681件(7月-3月)は非常に少ない。紀北病院の717件も1日2-3件であり多いとは言えない。
資料P43	イ-6	a	III			地域連携室、専門、認定看護師の活動を評価します。
		b	III			高位資格取得の為の奨学制度はどうなっていますか？
資料P44	(イ)		III			
	ウ-1	(ア)	IV			高く評価します。ドクターヘリの運行継続を高く評価いたします。救急救命センターの評価が全国で7位を獲得、また、高度救命救急センターに指定される。
		(イ)	III			
	ウ-2		III			
	ウ-3		-			どのように考えたらよいのでしょうか。
ウ-4		IV			どのように考えたらよいのでしょうか。	
<b>(4)医療安全体制の充実に関する具体的方策</b>						
資料P45	ア		III			
	イ	(ア) a	III	IV	1	診療科、各部署の垣根を越えた取組みを評価。
		b	III			
(イ)		III				
資料P46	ウ		-			計画完了後の取組みはどうなっていますか。
	エ	(ア)	III			
		(イ)	III			
<b>(5)病院運営に関する具体的方策</b>						
資料P47	ア-1	(ア)	IV	III	1	診断書だけではなく、医師の書き物の補助をもっと行うべきと考えます。患者サービスの観点から、受付から交付までの更なる期間短縮が望まれます。
		(イ)	III			
	ア-2		III			
	ア-3	(ア)	III			
(イ)		III				
イ-1		-			経営効率のその後は如何ですか？	
イ-2		III			預託方式の評価の認識が間違っていないですか？	
資料P48	イ-3	(ア)	IV			次のテーマは稼働率のUPです。7対1看護体制の導入を高く評価いたします。看護師不足の中、7対1看護取得に向けて、看護師の獲得に努力された。
		(イ)	III			

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学自己評価	委員の異なる評価	異なる評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
		イ-5 (ア)	Ⅲ			収入が上がっても素直に喜べません。
		(イ)	Ⅱ	Ⅲ	1	問題点が不明確。査定率をどう考えるかです。レセプト院内審査支援システムの改修。
		(ウ)	Ⅲ			
		(エ)	Ⅱ	Ⅲ	2	紀北の病床利用率の低さは待ったなしです。大きな欠陥を感じます。病床利用率の更なる上昇が望まれます。平成22年度の紀北病院の病床利用率が50%台であった。新病院移転時であり、今後に期待したい。新病院移転時前後の入院調整で、やむを得ない。
<b>(6)附属病院本院と同紀北分院の役割分担及び連携強化を達成するための具体的方策</b>						
資料P49		ア	Ⅲ			早く、抜本的な対策を講じて下さい。
		イ	Ⅲ			早く、抜本的な対策を講じて下さい。
<b>4 地域貢献に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P50	(1)-1	ア	Ⅲ	Ⅳ	1	延430名の医師を県下病院に派遣したことを評価します。地域医療支援センター設置を評価します。
		イ	Ⅲ			延430名の医師を県下病院に派遣したことを評価します。
		ウ	Ⅲ			延430名の医師を県下病院に派遣したことを評価します。
	(1)-2	ア	Ⅳ			高く評価します。
	(1)-2	イ	Ⅲ			
資料P51	(1)-3		Ⅲ			
	(1)-4		-			創学の趣旨から言って理解不能です。書き方があるのでは？
	(1)-5	ア	Ⅲ	Ⅳ	2	がん診療に対する全体的組みを評価。前年同様、連絡協議会の諸活動を通じ、本県がん診療の充実を図れた。5大がんの地域連携バスを作成し、運用開始。
		イ	Ⅲ			評価します。
資料P52	(2)-1		Ⅲ	Ⅳ	1	公開講座、講師派遣を評価します。
	(2)-2		Ⅲ	Ⅳ	1	共同研究を評価します。
	(3)-1		Ⅲ			
資料P53	(4)-1	ア	Ⅲ	Ⅳ	1	評価します。公開講座を評価します。
		イ	Ⅲ	Ⅳ	1	評価します。地域との連携を評価します。
	(4)-2		Ⅲ	Ⅳ	1	出前講座を評価。出前授業27回。
	(5)-1		Ⅲ			
資料P54	(5)-2		Ⅲ	Ⅳ	2	1歩ずつの努力を評価します。観光医学講座を評価します。
<b>5 産官学の連携に関する目標を達成するための措置</b>						
	(1)		Ⅲ	Ⅳ	2	異業種交流会を評価します。医療機器産業への参入、医工連携をテーマに異業種交流会の開催。
	(2)		Ⅲ	Ⅳ	2	医工連携など、異業種との交流会を行うなど、他大学にも呼びかけ、連携のきっかけを積極的に作った。異業種交流会を評価します。
資料P55	(3)		Ⅲ			
	(4)	ア	Ⅲ			
		イ	Ⅲ	Ⅳ	1	公開講座、講師派遣を評価します。
<b>6 国際交流に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P56	(1)		Ⅲ			国際交流の切れ目ない努力を評価。
	(2)		Ⅲ			国際交流の切れ目ない努力を評価。
	(3)		Ⅲ			国際交流の切れ目ない努力を評価。
	(4)		Ⅲ			国際交流の切れ目ない努力を評価。
	(5)		-			
<b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</b>						
<b>1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P57	(1)-1		Ⅲ			理事会の開催数が月2回となっているが、監事の出席状況は？
	(1)-2		Ⅲ			
	(1)-3	ア	Ⅲ			企業戦略機構での検討事項は？
		イ	Ⅲ			
	(1)-4		Ⅲ			大学運営に関する多様な試みは結構なことです。成果は如何でしたか？
	(1)-5		-			
	(1)-6		Ⅲ	Ⅳ	1	理事長直轄の監査室の設置。
資料P58	(2)-1		Ⅲ			
	(2)-2		Ⅲ			
<b>2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置</b>						
	(1)		Ⅲ			企業戦略機構での検討事項は？
	(2)		Ⅲ			

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	委員の 異なる 評価	異なる 評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
<b>3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P59	(1)-1		-			任期制度、職員の評価制度は継続していますか。
	(1)-2		-			
	(1)-3		III			
	(1)-4	ア	III			
		イ	III			教授公募の選考過程のオープン化を評価。
	(1)-5	ア	III			
		イ	III			
資料P60	(1)-6		III	IV	1	臨床教授、病院教授等の増員を支持します。評価はそのままですが、人材登用の努力を評価いたします。10名に臨床教授等の称号を付与し、臨床実習の充実を図った。
	(2)-1		III			事務職員等の研修は大いに実施して下さい。
	(2)-2		III	IV	1	対前年度と比べて如何ですか。他機関との人事交流を評価します。
<b>4 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P61	(1)		III			
	(2)		-			外部委託の功罪を検証して下さい。
<b>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置</b>						
<b>1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P62	(1)		III	IV	1	医療機器産業への参入、医工連携をテーマに異業種交流会の開催。
	(2)		-			中期計画完了後の見直しはないのでしょうか？
	(3)		-			中期計画完了後の見直しはないのでしょうか？
	(4)		III			室料差額賃料等の見直しを評価します。
	(5)	ア	III			収入が上がっても素直に喜べません。
	イ	II	III	2	紀北の病床利用率の低さは待ったなしです。大きな欠陥を感じます。病床利用率の更なる上昇が望まれます。新病院移転時であり、今後に期待したい。新病院移転前後の入院調整で、やむを得ない。	
<b>2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P63	(1)	ア	III			
		イ	II	III	2	異常気候を加味すれば致し方ない。高度医療人育成センターの本格稼働や新サーバー及び旧サーバーの併用によりやむなし。
	(2)		III			議論のあるところです！
資料P64	(3)		-			以後の経過はどうでしょうか？
	(4)		III			
<b>3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置</b>						
	(1)		III			
<b>第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置</b>						
<b>1 評価の充実に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P65	(1)		-			
	(2)		III			
	(3)		-			
	(4)		III			
資料P66	(5)		IV			評価します。教員評価に基づいて優良教員理事長表彰など新しい取り組みを行っている。
<b>2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置</b>						
資料P67	(1)-1	ア	III			
		イ	III			
	(1)-2		III			
	(1)-3		III			
	(2)		III			

## 平成22事業年度 業務実績評価シート①(各委員評価の集計結果)

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	委員の 異なる 評価	異なる 評価の数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置						
1 施設及び設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置						
資料P68	(1)-1	ア	III			
	(1)-2		III			
	(1)-3		III			
	(1)-4		III			
	(2)		III			
2 安全管理に関する目標を達成するための措置						
資料P69	(1)-1		III			
	(1)-2		III			
	(1)-3		III			
資料P70	(2)	ア	III			
		イ	III			
3 基本的人権の尊重に関する目標を達成するための措置						
資料P71	(1)		III			
	(2)		III			
	(3)	ア	III			
		イ	III	II	1	相談件数や投書の減少が気になります。
	(4)		III			
	(5)		III			
(6)		III				